

明治学院コンサート・シリーズ 第105回 《めぐる「四季」》

2018年 12月16日(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

明治学院大学 白金アートホール

入場無料 (一般の方々・学生、どなたにも開かれています。)

ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲 作品 3-3 ルクレール／2 ヴァイオリンのためのソナタ 作品 3-1 テレマン／トリオソナタ ト短調 TWV4 2:g 5 ヴィヴァルディ／協奏曲集「四季」

本シリーズ初の「四季」全曲です。ヴィヴァルディの作品3 (「調和の靈感」、フランス・バロックの精華ルクレール、ハンブルクの巨匠テレマンと合わせ、豊饒な響き、ゆったり 140 席アートホールで、師走の慌ただしさをお忘れください。

西野 絢賀 にしの・あやか (violin) <「四季」ソロ>

3才よりヴァイオリンを始め、11才でスズキメソッド全過程終了。名古屋市立菊里音楽高校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。第28回子どものためのヴァイオリンコンクール金賞。2009年JASTAストリングスセミナーで代表に選ばれ演奏。2009年全日本学生コンクール名古屋大会本選出場。第12回、第14回日本演奏家コンクール入選。第21回クラシック音楽コンクール全国大会入選。松田節子、石田なをみ、森下陽子、海野義雄、沼田園子の各氏に理事。

伊藤 静佳 いたう・しずか (violin) <作品 3-3 ソロ、ルクレール、テレマン>

洗足学園音楽大学入学(ヴァイオリン)。室内楽において第14回室内楽オーディションにて選抜された室内楽コンサートに出演。オーケストラ、室内楽、パーティー、レコーディング、アーティストのツアーなどで活動中。現在、洗足学園中学高等学校の音楽科目においてヴァイオリン講師、オーケストラ部のヴィオラ講師として後進の指導にあたる。

山本 有莉 やまもと・ゆうり (violin) <ルクレール、テレマン>

武蔵野音楽大学器楽科卒業。在学中、同大学管弦楽団コンサートミストレスを務める。2013年度福井直秋記念奨学金を受給。第62回東京国際芸術協会新人演奏会に出演。2016・2017年には東京にてリサイタルを開催、好評を博す。ヴァイオリンを山中光、奥田雅代の各氏に、室内楽を故 K.グントナー、C.ドル、小池ちとせ、青山聖樹の各氏に師事。

春木 英恵 はるき・はなえ (viola)

東京音楽大学卒業、同大学研究科修了。2004年ドイツ・クワッケンブルク国際コンクールヴィオラ部門第2位。公益財団法人千葉交響楽団(旧ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)、アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾメンバー。2014年よりモーツァルト・アカデミー・トウキョウのメンバーとしてオリジナル楽器による演奏会・レコーディングに参加。

半澤 朝彦 はんざわ・あさひこ (cello)

京都フランス音楽アカデミー、霧島音楽祭などで、堤剛(桐朋学園大学)、F.ミュレール(パリ国立音楽院)、H.シャピロ(ジュリアード音楽院)氏らのマスタークラスで演奏。2010年、英国 Trinity-Guildhall 音楽院ディプロマで同音楽院生相当の成績。G.トウリエール、毛利伯郎の各氏らに師事。本学准教授(国際関係史、音の政治学)。本シリーズをプロデュース。

金井 綾子 かない・あやこ (contrabass)

東京音楽大学音楽学部器楽専攻卒業。現在はフリーの奏者としてオーケストラを中心に演奏活動を行う。これまでにコントラバスを甲斐沢俊昭、山本修、永島義男、矢内陽子の各氏に師事。

山本 香代子 やまもと・かよこ (harpsichord)

神戸バハカンタータアンサンブルで、李善銘、大塚直哉の各氏にバロック音楽理論、チェンバロを学ぶ。ピアノを S.プロティッチに師事。近年、フォルテピアノでモーツァルトのピアノ協奏曲ソリスト。B.オールのマスタークラスで演奏。PIARA 審査員。

菅野 日奈子 かの・ひなこ (recitation) <ソネット朗読>

12歳から演劇を始め、現在、明学小劇場にて活動中。主な出演歴に『罫紙城の七人』『雷桜』『虹色ほたる』『あなたがここにいればよかったのに』『あたたかい雨が降る』など。2014年に出演した『雷桜』は、東京都高等学校演劇コンクール奨励賞を受賞。明治学院大学国際学部2年在学中。

【明治学院国際学部コンサート・シリーズ 第 105 回】 ☆白金アートホールへの行き方: JR品川駅高輪口より都営バス「目黒駅」行、またはJR目黒駅より「大井競馬場」行きに乗り、「明治学院前」下車。または、地下鉄南北線の白金高輪、白金台、浅草線の高輪台からいずれも徒歩5分。ホールはキャンパス内、東門に近いガラス張り建築の「パレットゾーン」2階奥。

※本シリーズのこれまでの演奏会、予定は、明治学院大学、国際学部のHP(イベントの項)で常時ご覧になれます。